

# つくし野中だより

第9号2022、11、17

校長挨拶

柳田 拓史

全校朝礼より（11月7日）

全校生徒の皆さん。おはようございます。

11月になりました。朝晩の冷え込みや日の入りの時間から、晩秋の訪れを目や肌で感じる季節となりました。この1か月程には、町田市内の連合行事が多く行われました。連合体育大会、連合マラソン大会、連合演劇発表会があり、明日は連合音楽会が予定されています。その度に、つくし中生の活躍を見ることができて、とても幸せです。

さて、今日は2年生の国語の教科書にもある椎名誠さんの書いた「アイスプラネット」のお話をしたいと思います。2、3年生は既に読み終えているので、振り返りのつもりで聞いてください。

この物語は、僕と僕の家に住候しているおじさんとのやりとりを中心に描かれています。おじさんは世界を歩き回った経験から、いろんなことを僕に話します。

「世界で一番長い蛇を知ってるか？」

「アマゾンには普通に三メートルのなまずがいるよ」

「北極には、1年に1度流氷が解けるときに、小さな氷の惑星ができるって言われている。アイスプラネットだ。」

おじさんの話に半ば興味を持ちながらも、半信半疑に聞いていた僕でしたが、再び外国に出かけることになったおじさんとの別れを迎えます。以下は、そのおじさんが数か月後に外国の滞在先から僕に送った手紙の一部分です。

「あの時の話の続きだ。友達とカヌーで北極海に出た。アイスプラネット。氷の惑星だ。地上十階建てのビルぐらいの高さなんだ。そして、海の中の氷はもっともってかき。悠君にもいつか見てほしい。若いうちに勉強をたくさんして、いっぱい本を読んで、いっぱい「不思議アタマ」になって世界に出かけていくとおもしろいぞ。」世界は、楽しいこと、悲しいこと、美しいことで満ち満ちている。誰もが一生懸命生きている。それこそありえないほどだ。それを自分の目で確かめてほしいんだ。」

つくし野中学校全校生徒一人ひとりにも異なる魅力や持ち味があることを、以前の朝礼でもお話をしたことがあるかと思います。でも私がそうであったように、皆さんの年齢で自分の良さや特徴をはっきりわかる人の方が、圧倒的に少ないと思うのです。だからこそ、学校の内外を問わず、多くの体験を通じて、物の考え方を深めたり、視野を広げる機会に恵まれてほしいと思います。

「多くの体験」というのは、必ずしも外で体を動かすことだけではありません。本を読んだ

り、映画を見たり、旅をしたり、また人の話を聞いたりすることも立派な体験です。そして、その中のなにかが皆さんの心の琴線に触れて、人生に大きな影響を与えてくれることになるのだと思います。

「アイズプラネット」という物語の主人公「僕」はおじさんとのふれあいを通じて、将来どんな大人に成長していくのでしょうか。そしてつくし野中学校の皆さんの人生は、どのように描かれていくのでしょうか。筋書のないドラマはこれからも続きます。

## フェスタ47

10月22日(土)秋晴れの下、フェスタ47が開催された。開場と共に多くの皆様のご来場をいただき、保護者の皆様とそのご家族をはじめ、卒業生、地域の方々が集う客席は和やかな空気に包まれた。昨年に引き続き総合司会の大役をひき受けてくれた3年生3人の温かな語り口で会は幕を開けた。

そして演劇部の登場だ。演目は「どらまていっくくらいしす」。時は8月30日、3ヶ月前から予測された巨大隕石の衝突を今夜に控えて、劇中の演劇部が織りなす人間模様が描かれている。

登場人物一人ひとりの個性を丁寧に演じる様は、あたかも劇中の人物が目の前に実在しているが如く臨場感があり、ステージに惹き込まれる熱演であった。

続くは吹奏楽部。オリジナルの曲あり、ポップスありの多彩な選曲から奏でられるハーモニー。

多くの楽器が、その特徴を余すところなく表現する様子に、観客の皆さんの体も自然と動いていた。音楽のもつ醍醐味を十分に伝えてくれた吹奏楽部の素晴らしい演奏だった。

このフェスタ開催にあたっては、フェスタ委員会の皆様、父親の会の皆様、そして今までのフェスタに携わってこられた全ての皆様のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。コロナ禍は、いまだ終息には至りませんが、つく中のもつ良き伝統を、これからも継続・発展していくことの大切さを感じる一日となりました。そして人と人がつながることの意義を再確認させていただきました。ありがとうございました。



## I組の活動から

10月28日（金）町田 GION スタジアムで行なわれた連合マラソン大会は、観る者の胸を打つ大会となりました。どのレースもタイムや順位を越えて、ただひたすらにゴールを目指して、もてる力の精一杯を尽くす姿が心に響きました。I組の皆さんの一人ひとりが輝いてみえました。競技後のおにごっこや、帰路のバスでは緊張からの開放感からの笑顔が爽やかでした。



11月4日（金）本校体育館での小中交流会。南つくし野小学校すぎな学級の皆さんと3年ぶりに対面して行うことが出来ました。



自己紹介に始まり、小中学校それぞれ入り混じってのゲーム大会。そして最後は、すぎな学級

の皆さんによる「パプリカ」の音楽に合わせてのダンスと中学生による和太鼓の演奏がありました。保護者の皆様にも大勢ご参観いただき、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

## 薬物乱用防止教室

10月24日（月）1年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。講師には本校に勤務していただいている薬剤師の先生をお招きしました。

「薬物」と聞くと、なにか別世界の出来事のように感じるかもしれませんが、私たちの生活の身近に接点や危険が潜んでいること等を豊富なご経験からお話いただきました。

そして、不安や迷いがある時は、誰でも良いので、周囲の信頼できる大人に相談することの重要性をお話いただきました。貴重な講話に感謝いたします。



## 交通安全教室

10月20日（木）スケアード・ストレイト方式による交通安全教室を全校生徒対象に実施しました。私たちが日常利用する歩道や横断歩道で起こる事故を想定して、実際に事故が起こる様子をプロのスタントマンの方が実演してくださいました。

思わず息を飲む緊張感・衝撃・スピードに見ているつく中学生も心配したり、ほっとしたりの連続です。もしこれが本当の事故だったらと思うと、改めて交通安全の意義を感じさせる時間となりました。ご尽力いただきましたシャドスタントプロダクションの皆様、町田警察、町田市役所の皆様に、厚く御礼申し上げます。



## 連合演劇発表会

10月30日（日）第47回町田市中学校連合演劇発表会が、ひなた村カリヨンホールで行われました。市内7校の演劇部が一堂に会しての発表会です。

本校はフェスタに続く「どらまていっく・くらいしす」の熱演でした。

改めてあらすじを紹介します。

「8月30日。いつもなら夏休みが残り1日になったことに全国の学生が悲しみに明け暮れるこの日、今年は何の絶望が空を覆っていた……。約3ヶ月前から予測されていた巨大隕石の衝突がついにこの夜に迫ったのだ。とある高校の演劇部の部室には演劇部のメンバーが浮かな顔で集まっていた。」

演劇部の皆さんお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

## 連合音楽会

11月8日（火）町田市中学校連合音楽会が麻生市民館にて開催されました。市内16校が参加をしましたが、本校は、合唱祭グランプリクラス3年F組が「虹」の歌声を披露してくれました。合唱祭の時とも一味違う柔らかく温かみのある歌声を響かせてくれました。また、他校の素晴らしい演奏を聴くことが出来たことも貴重な機会でした。学校を代表して発表した3年F組の皆さん。ありがとうございました。



## 12月行事予定

- 12月 1日（木）午前授業（3年生）
- 2日（金）一斉委員会
- 3日（土）科学センター（本校会場）
- 5日（月）全校朝礼、安全指導、教育相談始（全学年）
- 7日（水）学習発表会リハーサル（I組）
- 9日（金）学習発表会（I組）ひなた村カリヨンホール
- 12日（月）教育相談終（全学年）心のアンケート
- 13日（火）午前授業（全学年）
- 14日（水）午前授業（全学年）
- 15日（木）私立高校入試相談午前授業（3年生）
- 16日（金）移動教室保護者説明会（1, 2年生）
- 19日（月）中学校説明会
- 20日（火）避難訓練
- 22日（木）学年集会大掃除
- 23日（金）終業式